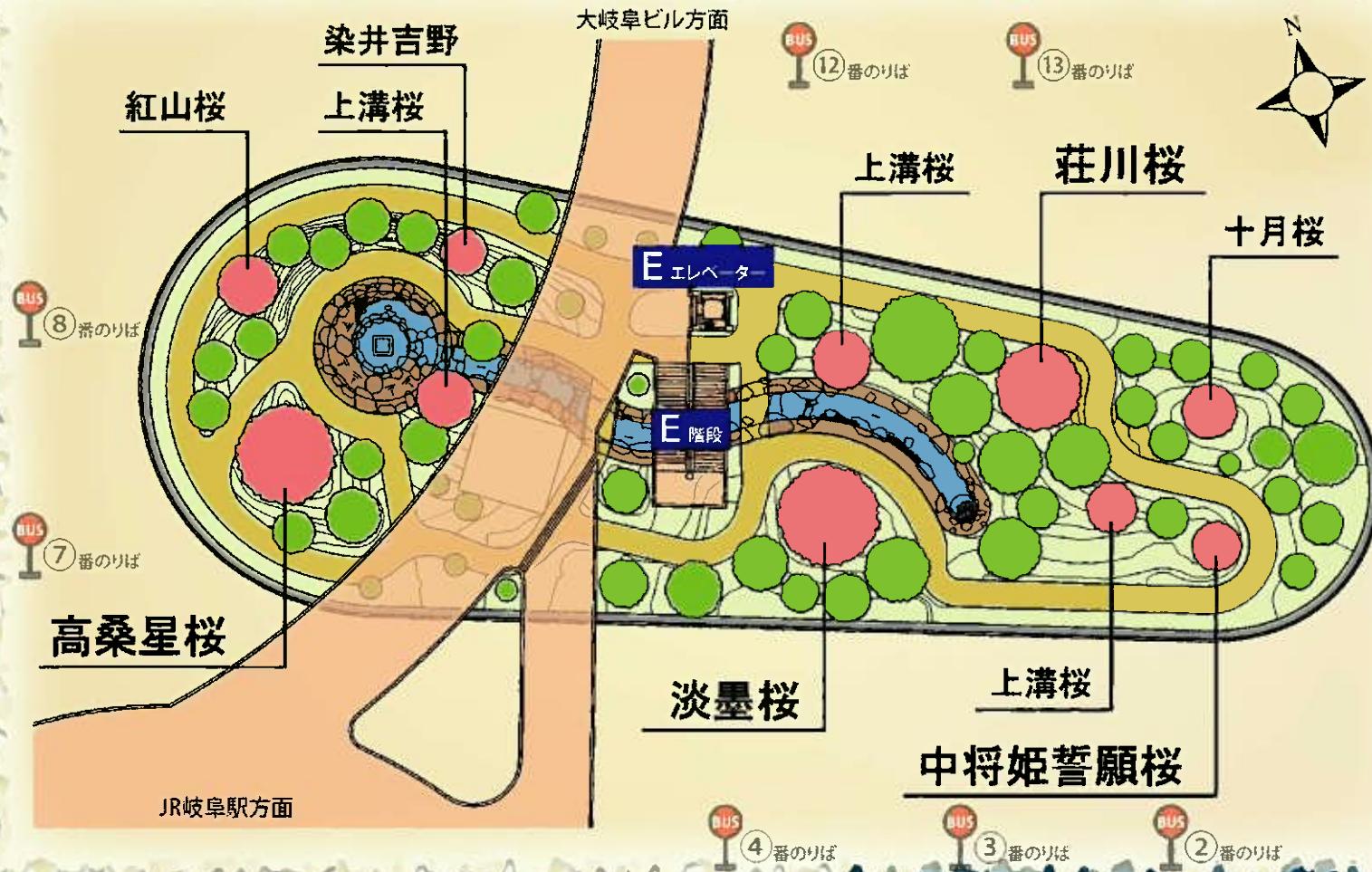


岐阜駅北口駅前広場の里山に咲く

岐阜のさくら



中将姫誓願桜

—チュウジョウヒメセイガンザクラ—



中将姫誓願桜はヤマザクラから変化したものと思われます。花は淡い桜色で花弁の数が20~30と多いのが特徴です。国指定の天然記念物である「中将姫誓願桜」の『二世』です。

淡墨桜

—ウスズミザクラ—

ヒガンザクラで、つぼみの時は薄いピンクで、満開の時は白くなり、散り際になると淡い墨色を帯びます。

国指定の天然記念物である「根尾谷の淡墨桜」の『二世』です。



莊川桜

—ショウカワザクラ—

アズマヒガンザ克拉というヤマザ克拉で、ごく薄いピンク色の花弁とごつごつとした幹が特徴です。

岐阜県指定の天然記念物である「莊川桜」の種子から育てられた桜です。



高桑星桜

—タカクワホシザクラ—

開花期間が3週間と大変長く花径は4cm程度と、大きく星型をした白色の一重花です。最初の開花から約2週間後、新たに半分程度の大きさの花が咲きます。

十月桜

—ジュウガツザクラ—

コヒガンザ克拉の園芸品種である。花は淡紅～白色の八重咲きで、4月と10月～12月頃の二回開花する性質があります。

紅山桜

—ヘニヤマザクラ—

ヤマザ克拉に似て花と葉は同時に開きますが、花は紅色です。ヤマザ克拉よりも北の方まで分布します。

染井吉野

—ソメイヨシノ—

江戸彼岸と大島桜の雑種。明治初年に東京の染井(現在の駒込)から広まった桜の代表種です。

上溝桜

—ウツミズザクラ—

各地の山地で生え、花序がブラシ状になる桜。昔この木に溝を掘って占いに用いたそうです。